



令和6年4月17日

研修だより7号

## 笠小ループリックについて③

小笠原康晃

笠小の授業は、「課題」「ループリック」「まとめ」「ふりかえり」の流れで行っています。

この中の「ループリック」が「笠小ループリック」になります。「笠小ループリック」では、ゴールの姿をイメージして設定をしています。

授業における「課題」を解決したときのゴールの姿が「笠小ループリック」です。

授業の目的によって、「課題」や「笠小ループリック」の言葉が違ってきます。

特に「笠小ループリック」は語尾が大きく変化します。

「知識・技能」の習得を目指す授業であれば、「～できる」「～が分かる」などの言葉になります。

「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す授業であれば、「まとめる」「考える」「説明する」「選ぶ」などの言葉になります。

「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す授業の場合、次のようになります。

課題	笠小ループリック
どのようにごんの気持ちは変わっただろうか。	ごんの気持ちの変化を考える。
なぜ静岡市ではプラモデルが有名なのだろうか。	有名な理由をまとめる。
どうすれば、小数の足し算ができるだろうか。	足し算の仕方を説明できる。
チョウはさくらにとまるだろうか？	チョウがとまるか調べて、まとめる。
どのような作戦なら得点につながるだろうか。	得点につながる作戦を選ぶ。

「笠小ループリック」は、1時間の授業のゴールの姿です。

子どもたちに提示する関係で短くしてあります。本来はもう少し長い文章になることがあります。